



慶應義塾大学

論理と感性のグローバル研究センター

2020 年度末公開成果報告会

日時:2020年2月25日(木) 13:00~17:00 参加自由

場所:Zoom によるオンライン開催

参加希望の方は下記お問い合わせ先まで、ご氏名、所属先を明記の上ご連絡下さい。

プログラム

13:00 開会

開会の挨拶:岡原正幸(社会学研究科委員長)

Session I 13:05~14:05

遺伝と教育グループ

安藤寿康(文学部)

利他性とパーソナリティとの遺伝・環境構造

認知神経科学グループ(司会:梅田聡)

田中祐登(本センター)

内受容感覚に影響を与える外的要因:心拍を模した刺激に対する事象関連電位

社会心理学グループ

平石界(文学部)

心理学界限の「危機」の氾濫について

Session III 15:45~16:45

美学美術史グループ(司会:後藤文子)

山根千明(本センター)

美術制作の契機としての回転混色器—現代ドイツの試み

哲学グループ(司会:岡田光弘)

佐藤真人(本センター・江戸川大学)

デカルトの「幾何学的神学」について
- 自己原因概念と聖体問題の観点から

論理・情報グループ(司会:峯島宏次)

岡田光弘(文学部名誉教授)

論理とデジタル情報環境

Session II 14:15~15:35

発達科学グループ(司会:皆川泰代)

森本智志(本センター)

社会的信号応答モデルに基づく脳活動同期解析

文化人類学グループ(司会:北中淳子)

榎原克哉(本センター・東京通信大学)

精神科薬物療法と脳神経化学的知識の普及に関する質的研究-「抗うつ薬の時代」の空隙の考察
宮坂敬造(文学部名誉教授・東京通信大学)
芸術療法の近年の文化精神医学領域における展開例

感性科学グループ

川畑秀明(文学部)

認知と印象の多様性:感性科学と異分野間融合、文化比較からのアプローチ

総括コメント 岡田光弘(文学部名誉教授)

閉会の挨拶 倉田敬子(文学研究科委員長)

17:00 閉会

※発表順は変更の可能性があります。
プログラムの最新情報はセンターHPを
ご覧ください



主催:慶應義塾大学 論理と感性のグローバル研究センター (<http://www.carls.keio.ac.jp/gcarls/>)

お問い合わせ先:本報告会事務局 (e-mail: grcls.contact-group@keio.jp)

Global Research Centre for
Logic and Sensibility